

会員のみなさんへ

国東市の現状と取り組み

監事 富永 六男

国東市は、地域振興のために目指すべき道として3つの里づくりを掲げています。「福祉の里づくり」「観光の里づくり」「教育の里づくり」がそれであり、そのための方策を推し進めています。「教育の里づくり」では、学力向上はもとより市内の小・中学校3校にコミュニティスクールのモデル校指定をして27年度から実施しようとしています。このためには、家庭、学校、地域社会が子どもの健全育成のために各機能を発揮するように繋いでいかなばなりません。推進役の教員と事務局の担当者がいかにこの取り組みの内容を熟知し、保護者と地域の指導者をうまく取り込んでいくかが成否の分け目になります。先進的な事例や、的確なアドバイスの必要がここに生じてきます。「それぞれの活動への情報提供や活動への協力をしつつ、教育の協働を進めるコーディネーターとしての先進的活動をすることが本会の役割である」(NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットの活動の充実の方向性:2013年3月確認より)。このことを活かしてもらうには市の要請と本会の対応が必要であり期待するところであります。

『協育』アドバイザー養成講座【上級編】実践研修

日時 10月3～4日実施
参加者 14名

佐賀県武雄市に行ってきました。

【1日目】武雄市立武雄中学校

荒れた学校の状況から、「これではいけない」「どうにかしよう」と保護者や子ども(生徒会)更には地域の支援を取り込んだ取り組みが始まっている。コミュニティの日の開設(あいさつ運動・部活動支援・校内見守り隊・図書館開放)武中応援団(校区に住む卒業生)お話し「ほんわか」(読み聞かせ)土曜学習会ボランティア 職場体験 職業講話 育ち合い講座「赤ちゃん登校日」等々。これらは、家庭・学校・地域のメンバー15名で構成された「武中のちから実行委員会」に支えられる。ボランティア登録100名。武雄中学生徒会は「地域に信頼される学校づくり」を掲げ、生徒自身による地域貢献、ボランティア活動で頑張っている。ポイントは、①子どもたちの「何をしたいか」「どうしたいか」「どうなりたいか」という思いに耳を傾ける。②子どもたちが地域に貢献できる場をつくり、「誉め」「認め」頑張りを応援する。③学校が「家庭・学校・地域」と連携し、取組をするというメッセージを強く、繰り返し発信する。④学校内の事務局体制をつくりあげる(事務局スタッフ・地域コーディネーター・学校窓口・実行委員会)等。我々訪問団との会議の場は、実は平日頃地域の人たちが自由に出入りできるボランティアメンバーの基地だった。校舎の一階にいつでも出入りできる広いスペースの交流の部屋があるということに驚かされた。まさに力強い実践が動き始めていると実感した。武中の力(家庭のちから・学校の力・地域のちから)構想は、我々「協育」体制づくりを推進する者にも響くシンボリックな言葉で、強く心に残った。(園部 秀靖)



中学校コミュニティルーム

【2日目】武雄市図書館

全国的に脚光を浴びている武雄市図書館を訪問してきました。昨年4月に生まれ変わった図書館は、企画会社のCCCを指定管理者とし、蔦屋書店とスターバックスコーヒーが併設された、これまでにない形の図書館です。訪問当日も各地から多くの見学者や観光客が訪れていました。入口を入ると正面から右手にかけて書店があり、窓側のスタバに添って雑誌や実用書が並べられていました。おしゃれな文房具や地元の特産物とそれに関連した本のコーナーなども設けられていました。コーヒーの香りが漂い、静かなBGMが流れる中、多くの人が集う図書館でした。以前から利用されていた人が、スリッパがけから革靴に変わったというエピソードを伺い、「新しい風」を感じました。そして、人と本との出会い、人と人との出会う明るい雰囲気図書館という印象を受けました。図書館の蔵書は、開架式を基本としていて、天井まである書棚にぎっしり収められていました。また、館内各所に机や椅子が設けられていて、従来の図書館としてのスペースではBGMもほとんど聞こえず、自分だけの時間をゆっくりと楽しむことが出来そうでした。(佐藤 真由美)



武雄市図書館

会員さんの活動紹介

幸 美佐子さん(5期生)

平成26年度会員さん紹介、トップバッターは5期生の幸美佐子さんです。
9月4日(木曜日)大分市の男女共同参画プラザ アイネスにて取材、当日は園部理事長にも同席してもらい和やかな雰囲気の中取材をさせて頂きました。幸さんはNPO法人 FOR ONEの理事長でもあります。協育アドバイザーネットへの参加は大分県主催の協働広場での出会いでした。NPO法人 FOR ONEは障がい者・高齢者・被災者・児童養護施設利用者等が住みよい社会であるよう、音楽・芸術・文化を媒体とした事業を行い、福祉意識の醸成を図る事を目的として活動しています。

活動の3本柱

①福祉的コンサート事業

エンジェルハートコンサートおおいた
グランシアタにスロープを設置し500名に無料入場券をプレゼント!

②地域交流参加促進事業

臼杵市稲田田ノ口において無農薬野菜栽培中、毎日の作業、虫祭りや農園祭を通じて地域住民と交流

③研修事業

絵本や紙芝居の音読・障がい者支援研修、楽器体験研修
これらの活動を通してソーシャルインクルージョンの理念に基づき、障がい者及び支援を必要とされる人々を社会の構成員として包み込み、理解しあい、その人自身の持つ力を活かすことができるよう、音楽・芸術・文化等を媒体とした事業を行い、支援される人支援する人、共に思いやる心の地域福祉の本質が、より深く浸透していくことを目標に活動を続けています。

今後の活動目標として子ども達に平和授業を開催したいそうです。

私たちの活動と協働出来るのではと思っています。幸さんの活動に共感・協働が出来るような会員の皆さんぜひ事務局にお問い合わせください。(上原 政道)



取材風景



エンジェルハートコンサート



FOR ONE 農園

広報部からのお知らせとお願い

広報部では会員の皆さんに情報発信ツールとしてホームページを活用していましたが、どうしても一方通行になってしまいます。ほっとな情報を素早く会員の皆さんの元へお届けしたいと考えていろいろと思索していました。今回、会報誌と共に 登録事項等調査票 を同封しています。会員の皆様には普段利用しているメールアドレスを記入して頂き(Gメールなどフリーメールアドレス可)返信封筒にて送り返してください。

また、皆さんの現在の役職なども合わせて記入をお願いします。活動内容なども合わせて記入して頂ければ幸いです。今後は会員の皆さんにいち早く情報発信したいと考えています。皆さまにはお忙しい中大変恐縮ではございますがご記入のうえご返信いただきますようご協力をお願いいたします。

おおいた「協育」ポータルHP
NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットHP

<http://www.kp.he.oita-u.ac.jp/>
<http://www.kyouiku-adviser.net/>



事務局からのお知らせ

- 平成26年12月9日(火)に別府のビーコンプラザで開催する「温泉コンシェルジュ養成事業啓発シンポジウム2014」のご案内です。大分大学で学んだ協育アドバイザー養成講座の講師、生重さんがコーディネーターを務めます。詳しくは、HPでご確認ください。
- 文部科学省の事業で平成26年度「学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証検証(学校・家庭・地域の連携協力推進事業)」を再委託することとなりましたので報告します。

会費納入のお願い

アドバイザーネットの活動は皆さんの会費で支えられています。

①2012年度・2013年度の会費が未納の会員の方は、早急に納入願います。2年を超して未納の場合は定款に従って会員の資格を喪失することとなります。(休会・退会の際は、連絡をお願いします)

②2014年度の会費の納入をお願いいたします。

※郵送の場合: 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学高等教育開発センター 中川忠宣宛

※振込の場合: ゆうちょ銀行 記号17220 番号4866821

(トクヒ) オオイタケンキョウイクアドバイザーネット